

第6回新技術説明会(キャラバン隊) 開催報告

平成 21 年 4 月 17日(金)、宇都宮大学を開催主催校として、宇都宮大学・茨城大学・埼玉大学・群馬大学による新技術説明会(キャラバン隊)が、関東経済産業局の支援を得て、首都圏北部4大学連合(4u)、首都圏北部地域産業活性化推進ネットワーク、(財)栃木県産業振興センターの主催で、小山商工会議所において開催されました。

開会にあたり、宇都宮大学の馬場理事・副学長から「昨年4月開催の新技術説明会(キャラバン隊)で説明した宇都宮大学のシーズが群馬の企業と結びつき、愛知県の手メーカーに納入されたという成果も出ている。大学の知は原石、すぐに企業で使えないかも知れないが、一緒に磨くことで実を結べれば良いと思う。」と挨拶されました。

説明会の内容としては、新技術説明として6件(宇都宮大学、埼玉大学から各2件、茨城大学、群馬大学から各1件)、産学官連携事例として1件の説明・発表が行われました。

「地域経済の発展は自らの知恵と行動で」と題しての鹿沼商工会議所からの連携官連携事例発表は、機械金属加工技術の集積地を目指し、産学官連携でものづくりに特化したまちづくりを目標に取り組んできた背景やこれまでの実績が説明され、参加者からは「産学官連携を考える良い参考となった」との声をいただきました。

説明会の参加者は80名で、その内訳としては栃木県から47名、茨城県から7名、埼玉県から7名、群馬県から15名、新潟県から1名、東京都から3名と関東の広域から参加いただきました。また、交流会の参加者は35名で、活発な情報交換が行われました。



説明会場



宇都宮大学・馬場理事



新技術説明風景



茨城大学・佐藤准教授



群馬大学・板橋教授



宇都宮大学・小金澤教授



鹿沼商工会議所・入江所長



埼玉大学・荒木准教授



新技術説明風景



宇都宮大学・郷准教授



埼玉大学・水野教授



交流会